

平成25年第1回土浦市国民健康保険運営協議会 議事録

- 平成25年2月28日（木）
- 出席者 14名
- 過半数の出席が得られたので、「土浦市国民健康保険規則」第4条第5項の規定に基づき、本会議が成立する。
- 会長挨拶
- 傍聴人 なし

「土浦市国民健康保険規則」第4条4項の規定に基づき、議長は「久松会長」が務める。議事録署名人の選出（土浦市国民健康保険規則第7条）議長により、金澤幸江委員、長谷部 宏委員が指名される。

報告（1）平成25年度土浦市国民健康保険特別会計予算（案）について

- 事務局説明：別添資料に基づき説明

委員 (事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度の収納率はどうなるか。 ・85.42%の見込みである。
委員 (事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・国保税収が少なくなっている要因は何か。 ・国保加入者の収入が下がっているのが主な要因。 (200万円～300万円の低所得者層の加入者が増加しているため)
委員 (事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・前期高齢者交付金と同納付金の違いは何か。 ・社会保険報酬等支払基金に各保険者が納付金を拠出し、支払基金が前期高齢者の加入者数に応じて調整し、各保険者に交付金を交付している。
委員 委員 (事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・前期高齢者交付金は、被用者保険では、考えられないもの。 ・平成25年度の税率で応能応益の割合はどうか。 ・6割・4割

報告（2）平成24年度土浦市国民健康保険特別会計補正予算（案）について

- 事務局説明：別添資料に基づき説明

委員 (事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・出産育児一時金はいくらか？ ・42万円。
委員 (事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・収納率は上がっているのか。 ・平成23年度は83.71%，平成24年度は85.42%見込みで、1.7%増。
委員 (事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・補正減と収納率の上昇との関係がわからない。 ・収納率は、収納済額を調定額で割りかえして算定するが、その

<p>委員 (事務局)</p>	<p>調定額が減少したことによる補正減。(分子にある収納済額が前年同額とした場合、分母の調定額が減額となれば率は高くなる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上がった理由は。努力をしているからか。 ・特に何も対策としては変わりはないが、平成25年度は訪問相談事業を新規に取り組む予定。
<p>久松会長 委員 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・滞納一掃アクションプランで取り組んでいる結果であろう。 ・総務費徴税費とは何か。 ・納税課の徴収関係の費用ではなく、国保税を賦課するための、職員人件費やパンフレットなど諸経費。
<p>委員 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計繰入金の増額補正の内訳は何か。 ・767, 650千円のほとんどは赤字補填によるもの。
<p>委員 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計繰入金の他自治体はどうか。 ・水戸は、平成23年度は8億円の補てん。今年度、税率改正により補てんを減らす予定である。
<p>委員 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・繰入金に関し、準備金(基金)はないのか。 ・平成23年度に基金を取り崩しており、現在基金は、10万円程度。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・準備金など、いざという時に国保の基金を持っていないと厳しいのではないか。
<p>委員 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・法律の定めはないのか。 ・不朽の積み立てをした方がいいが、しなければならないというものではない。
<p>報告(3) 土浦市国民健康保険税減免取扱要項の一部改正(案)について</p>	
<p>○ 事務局説明：別添資料に基づき説明</p>	
<p>委員 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・①所得が著しい減少の5/10の基準で、他市の事例と実績はどうか ・50%のところが多いが、20%でも認めた例はある。平成24年度実績は18件のうち、11件認定。減免額は110万円。
<p>委員 (事務局)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・②の現金や預貯金等の要件で、確認はどのようにするのか。現金は難しいのではないか。 ・資料が出せない現金などは聞き取りをする。銀行に照会する場合もある。

報告（４）土浦市特定健診等実施計画（第２期）（案）について

○ 事務局説明：別添資料に基づき説明

久松会長

・医療費の伸びを押さえることができるか、この計画にかかっており、重要な計画である。

委員

・４０歳，５０歳代の男性の受診率が低い。
意識の低いところにどのように促していくのか。
対象者の職業や中身を分析することが必要である。
駅で啓発しても効果はない。JAの直売所などの方がよい。

(事務局)

・健康増進課が啓発や出前講座などを行っている。地元の町内会の公民館で健康教室を行う。また、ウォーキング大会、血糖値改善の健康指導など健診の大切さを広めていきたい。

委員

・アメとムチが必要。ムチは、「健診を受けずに病気になると、こんなに辛いぞ」ということを半ば脅すような啓発。アメは、参加者にはプレゼントを用意してはどうか。

(事務局)

・プレゼントや、ポイント制などを検討していきたい。

委員

・出前講座は健康増進課で地元に出向いてくれるのか。

(事務局)

・健康増進課の出前講座をぜひ活用してほしい。

委員

・（関鉄健保組合の比して）土浦市国保は恵まれている。健診体制健診負担金が充実している。
・それから、茨城県保険者協議会に土浦市国保は出席していないのはどうしてか。

(事務局)

・出席する立場にない。

委員

・特定保健指導はどのように行っているか。

(事務局)

・健康増進課の保健師と一部、業者委託で実施している。

委員

・人間ドックの助成金はいくらか。

(事務局)

・人間ドックは半額の２万円を負担している。実績人数は１，７００人。

委員

・値段が高いため受診率が低いのではないか。対策はあるのか。

(事務局)

・本市は、①集団健診②個別健診③人間ドック④脳ドックの４つの方法で受診できるようになっているので周知に努めたい。

委員

・資料２の１２ページ，第２期計画の目標数値で，平成２９年度の特定健診受診率６０％，特定保健指導６０％，内臓脂肪症候群該当者数の減少率２５％を実現できたらどのくらい医療費が軽減できるのか試算した方がよい。

委員

・健診をする中，受診率が上がらないのは，治療中の人が多いので

(事務局) 委員	<p>はないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服薬中の方の率でいうと、県内1位2位の状況にある。 ・軽症のうちに手当てをすれば医療費は減る。予防に力を入れることは大切である。
(事務局) 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング教室は、そのあたりをねらっている。30、40代の参加者が少ない。運動の習慣を持てるようにゲーム性を取り入れたい。 ・また、平成29年度60%の目標達成は、保健師（人的措置）の増も考えているのか。
(事務局) 久松会長	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23、24年度で、4人増になった。採用に関する後方支援をお願いしたい。 ・この高い目標に接近するように、県や全国の平均値をくれぐれも下回らないように、しっかり取り組んでほしい。
その他	
○ 事務局より、前回説明の一部負担金減免等について、HPや広報紙の周知を報告	
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・国保運協の視察が今回、市議会の行事と重なっていた。開催期日を決定する前に、各団体の代表者に確認をしてほしい。